

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（教育委員会）

教育長	安田 修
教育次長	大林 清

達成度区分	◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手
-------	--

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
1	新学校給食センターへの円滑な移行（教育総務課）	1.学校給食運営計画に基づく運営実施体制の構築 ①昨年度策定した「学校給食運営計画」に基づき、新学校給食センターの施設運営体制を確立するとともに、アレルギー対応も考慮した献立決定や食品調達、配送計画などを具体的に推進します。 ②新学校給食センターの稼動に向け、引き続き給食関係者及び学校関係者との協議・検討を行います。	◎	○新学校給食センターの稼動より市内統一した献立になることから、新学校給食センターが特定7品目を除去したアレルギー対応食を提供するため、保護者向け食物アレルギー対応説明会の開催しました。 さらに運営面の協議の場として給食関係者及び学校関係者などで構成する共同調理場運営委員会、学校給食献立及び食品選定委員会を設置するとともに、食材の納入について学校給食用食品指名審査委員会を開催するなど具体的な取組を推進し、平成29年8月25日から市内の中学校へ、9月1日から市内の幼稚園、小学校へ新学校給食センターからの給食提供を開始しました。
	【総括達成度】	2.学校給食費の公会計処理への段階的な移行 ①会計処理の透明化や学校給食費に関する学校事務の負担軽減を図るため、学校給食費の公会計処理への段階的な移行に向けて制度の検討及び整備、システムの構築を行います。	◎	○新学校給食センターの運営が始まった8月末から段階的な公会計による運営に移行しました。学校給食費の徴収については、平成30年4月からは、保護者等への直接徴収に移行するため、学校給食管理システムの整備を図り、年明けから口座振替申込書を保護者に送付し、学校給食費の徴収に向けた準備を進めています。
2	学力向上に向けた事業の推進（学校教育課）	1.学力向上推進策の検討 ①「鳴門市学力向上推進委員会」において学力向上と効果的な教育環境の整備を目的とし、より実効性のある施策を検討し、取組を推進します。	○	○校内学力向上推進員情報交換会を2回開催し、各小中学校で学力向上に効果のあった取組について報告し、情報共有を図った。内容は、学力向上推進委員会に報告し、学力向上策立案に反映した。 ○学力向上推進委員会を2回開催し、全国学力学習状況調査の結果等を分析することにより、本市の課題を抽出し解決策について協議を行った。 ○学力向上推進委員会として、各校の取組を「実践事例集」として調製し、各校に配布するとともに、家庭における学力向上への取組リーフレット「家庭学習で確かな学力の定着と向上を」を作成、平成30年度当初に小中学校保護者へ配布する。
	【総括達成度】	2.授業時数の拡充 ①次期学習指導要領に対応した、夏季休業日の短縮について検討を行います。	◎	○小学校の次期学習指導要領に対応し、外国語活動の授業時数を確保するとともに、学力向上をめざすため、平成30年度から小学校の夏季休業日を短縮することとし、新たなカリキュラムについての検討を行った。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（教育委員会）

教育長	安田 修
教育次長	大林 清

達成度区分	◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手
-------	--

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
3	幼小中一貫教育の推進 (学校教育課)	1.幼小中一貫指導プランの策定 幼小中一貫教育専門部会において、指導プラン策定に向けての協議を進めるとともに、段階的な実践を進めていきます。	○	○瀬戸中校区幼小中全教員による3つの専門部会にて、学習面、生活面での幼小中一貫指導プラン(学びのプラン)を策定し、各校・園で生活面での課題を共有し、生活規律の向上に向けた取組を開始した。 ○今後も引き続き、学びのプランを具現化するための取組を推進していく。
	【総括達成度】	2.幼小中の連携強化 校種間の連携強化により、子ども同士、教員同士の相互理解を深めていきます。	◎	○幼小中合同交流会での班別活動をはじめ、校種間での様々な交流活動により、年長者にとっては「自己有用感」の醸成、年少者にとっては「上学年への憧れや尊敬」の気持ちを高めるなどの効果が得られた。 ○教員においては幼小中合同研修や、専門部会での協議や意見交換を通じて、校種を越えて相互理解を深めることができた。
4	学園都市化構想の推進 (学校教育課)	1.連携協力策の着実な推進 ①年度当初に、市教委、地区内の認定こども園・幼・小・中の関係者で、実施計画の内容を確認し、各取組の目的や効果留意点等を事前に把握し、調整と準備を行うことで、効果的効率的な連携協力策の推進を図ります。 ②年度途中で、進捗状況を確認し、必要に応じて調整や見直しを行います。	◎	○鳴門教育大学と連携して、鳴門町内の認定こども園・幼稚園・小中学校で行う教育研究活動について、事業計画書に基づき、随時実施状況について報告を受け、実施内容を把握した。また、今年度の事業を検証したうえで、来年度の事業計画を検討した。 ○鳴門町内の認定こども園・幼稚園・小中学校について「鳴門教育大学 教育研究拠点校」として指定いただき、教職員・児童等だけでなく、保護者や地域の方に「鳴門市学園都市化構想」について周知し、更なる連携協力の強化を推進することとした。
	【総括達成度】	2.改善点を踏まえた効果的な推進 ①実施後には、改善点の調査と集約を行い、次年度の計画に反映させるなど効果的な推進を図ります。	○	○それぞれの取組を踏まえ、各連携協力ごとに問題点の確認と改善点の把握を行い、来年度計画を検討する「総合調整プロジェクト」(3月開催)で協議し、次年度の計画に反映した。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（教育委員会）

教育長	安田 修
教育次長	大林 清

達成度区分	◎：達成(100%以上)	○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)	△：未達成	×：未着手
-------	--------------	----------------------	-------	-------

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
5	第二期鳴門の学校づくり計画の推進 (学校教育課)	1. 北灘町・瀬戸町5小学校・幼稚園の統合 ①瀬戸小学校保護者への説明会を開催し、学校の状況説明と、意見交換を行います。 ②北灘町・瀬戸町の5小学校・幼稚園の統合に向けた準備を進めます。	◎	○瀬戸小学校の保護者や地域の方々と意見交換を行い、平成29年度末をもって、瀬戸小学校を休校することを決定した。休校記念誌の発行や、休校式典の開催などの事業に取り組んだ。 ○今後、北灘町・瀬戸町の5小学校・幼稚園の統合に向けた取組を進めていく。
	【総括達成度】 ◎	2. 複式学級編成の解消 ①複式学級編成となった鳴門東小学校保護者との意見交換会を開催し、今後の学校のあり方について検討します。 ②極めて小規模である鳴門東幼稚園について、保護者との意見交換会を開催し、今後の幼稚園のあり方について検討します。	◎	○鳴門東小学校・幼稚園の保護者や地域の方々と意見交換会を開催した。平成30年度に著しい小規模化が予想されていた鳴門東幼稚園については、平成29年度末をもって休園とすることを決定した。 ○今後も引き続き、複式学級編成の解消に向けた取組を進めていく。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（教育委員会）

教育長	安田 修
教育次長	大林 清

達成度区分	◎：達成(100%以上)	○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)	△：未達成	×：未着手
-------	--------------	----------------------	-------	-------

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
6	学校体育施設開放に伴う管理・運営体制の確立 (生涯学習人権課・体育振興室)	1. 学校体育施設開放に伴う管理・運営体制の確立 ①利用団体が、主体的に連絡調整や施設の管理運営を行うことができる組織づくりをめざし、モデル校において、試行的に「学校体育施設開放運営協議会」を立ち上げていただき、組織体制や運営方法の検証を共に行います。 ②モデル校での試行的な運営を通じて、見えてくる課題を把握・改善しながら、「協議会要綱(案)」等を検討します。 ③次年度以降に、他の学校区においても協議会設立が図られるように、組織づくりの波及に努めます。	○	①鳴門西小学校及び同校学校体育施設利用団体関係者に、モデル校としての協力を依頼した。その上で、30年度に向けた体育館利用者会議の開催時にも、利用団体による「学校体育施設開放運営協議会」の試行的立ち上げや、利用者が相互に協力して運営できる方法及び組織体制の検証に関する協力をお願いし、意見聴取を行った。(30年1月～3月) ②利用団体、学校、市教委が連携しながら、モデル校での試行的な協議会運営を進め、同時に、他の学校区が参考にできる「協議会要綱(案)」づくりについても検討していきたいことを申し合わせた。 ③モデル校の意見を反映させた組織体制や運営方法を盛り込んだ「協議会要綱(案)」を活用しながら、30年以降において、市教委として、他の学校区で組織づくりを波及させていきたいことを説明し、モデル校における検証を依頼した。
	【総括達成度】	2. 受益者負担の検討 ①モデル校において、受益者負担(電気代相当額)の導入に関する意見も聴取しながら、設定額等の詳細について調査・検討を行います。	○	○モデル校での「学校体育施設開放運営協議会」の試行的運営や他の学校区へ組織づくりを広めていく過程を通じて、学校体育施設利用に係る受益者負担(電気代相当額)について意見聴取を行い、設定額等についても検討していきたいことをモデル校に説明した。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（教育委員会）

教育長	安田 修
教育次長	大林 清

達成度区分	◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手
-------	--

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
7	文化財の保存と活用 (生涯学習人權課)	1. 板東俘虜収容所跡の国指定史跡化 ①第九アジア初演100周年での史跡指定に向けて、立会済みの土地所有者との指定同意交渉や文化庁との協議を進め、平成30年1月の申請を目指します。	◎	○板東俘虜収容所跡(約57,000㎡)のうち、国有地(財務省四国財務局徳島財務事務所所管:17,773.05㎡)、県有地(徳島県県土整備部住宅課所管:5,388.00㎡)、市有地(公園緑地課・土木課・農林水産課所管:13,918.15㎡)について、各所有者等と協議を進めた。 ○これらの公有地(37,079.20㎡)を今回の指定申請範囲として、各所有者等から国指定史跡に指定すること及び鳴門市を管理団体に指定することに関する同意書を取得した上で、平成30年1月24日付けにて、徳島県教育委員会を通じて、文部科学大臣に意見具申書(指定申請書)を提出した。
		2. 福永家住宅の保存と活用 ①保存活用計画(案)の内容について、国・県と協議しながら最終調整を行い、承認を得るとともに、建造物修理の具体的スケジュール等の検討を進めます。 ②地元関係者や観光ボランティアとの協働による一般公開を年2回開催するとともに、随時の見学にも対応します。	○	①保存活用計画(案)について、6月定例教育委員会で内容説明を行ったのち、徳島県教育委員会を通じて、計画承認に向けた文化庁との協議を開始した。12月には文化庁調査官による現地確認を受け、計画(案)に対する詳細指導を受けた。指導に基づく手直しを行うとともに、国・県との協議を継続している。 ②一般公開を7月2日と10月14・15日に実施し、491名が見学した。また、30年2月末までに15回の随時見学に対応し、311名を受け入れた。
	【総括達成度】	◎	◎	○「鳴門板野古墳群写真展」を8月23日から9月10日に市立図書館1階ロビーで開催した。各古墳の写真や説明パネルのほか、大代古墳から出土した埴輪破片や石棺レプリカなど約60点の展示を行った。 ○「大代古墳一般公開」を30年3月11日に地元保存会と連携して開催する予定。当日は、大津西小学校児童も案内役として参加する予定。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（教育委員会）

教育長	安田 修
教育次長	大林 清

達成度区分	◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手
-------	--

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
8	公民館の耐震化とリニューアル修繕 (生涯学習人権課)	1. 公民館の耐震化 ①齊田公民館の耐震補強工事を行います。 ②大津中央公民館の耐震補強工事設計を行います。 ③地元の意向を確認しながら、堀江公民館の耐震化に向けて、方向性を検討します。	○	①齊田公民館の耐震改修工事を6月～12月にかけて実施した。 ②地元の要望である調理室兼会議室の新設などを含め、大津中央公民館の耐震改修工事設計を実施した。 ③堀江公民館の耐震化に向けて、地区自治振興会役員等に相談するとともに、堀江地区住民を対象にした説明会を30年2月21日に開催し、耐震化に関する市教委の考え方を説明し、意見徴収を行った。引き続き、意見集約のため住民説明会を開催する予定。
	【総括達成度】	2. 公民館のリニューアル修繕 ①川東公民館のトイレ等改修工事(男女別、洋式化及び多機能化等)やクロスの貼り替えなどを行います。 ②瀬戸公民館のエアコン更新及びトイレ修繕(洋式化)などを行います。 ③里浦公民館のトイレ改修(男女別、多機能化等)に向けて工事設計を行います。	◎	①川東公民館のトイレ等改修工事を7月～10月にかけて実施し、トイレの男女別洋式化(多機能トイレ設置含む)や玄関内へのスロープ設置を行った。また、クロス貼り替え・屋上防水などの老朽箇所修繕を随時行った。 ②瀬戸公民館のトイレ修繕(洋式化)及び和室、調理室、図書室のエアコン購入設置を5月に実施した。また、クロス貼り替え・屋上防水などの老朽箇所修繕を随時行った。 ③地元の要望である旧連絡所部分の会議室への改修も含め、里浦公民館のトイレ等改修工事設計を実施した。
9	図書館の耐震改修に向けた取組 (生涯学習人権課)	1. 建物の耐震改修工事に向けた設計 ①耐震性能を満たす改修方法を検討します。 ②多くの市民が気軽に多目的利用できるよう2階視聴覚室等の改修を検討します。 ③利用者の利便性向上を図るため、エレベーターの改修等を検討します。 ④建物内の老朽箇所等を点検し、リニューアルに向けた改修を検討します。	◎	①耐震性能を確保するため、屋上エレベーター建屋の撤去や1階に耐震スリットを設置する等の補強方法を取り入れた設計を行った。 ②2階視聴覚室については、改修後、文化的行事以外にも多目的に利用いただけるよう、現在の固定式の机・椅子を軽量可動式のものに変更することとし、その収納スペースとして、室内の視聴覚機材調整室を倉庫に改修する設計を行った。 ③既存の管理用エレベーター更新とは別に、来館者専用エレベーター(1～3階)の新設や、敷地内に駐車場を新設、トイレのリニューアル(洋式化等)及び図書閲覧室・ロビーなどの照明LED化を図る設計を行った。 ④協働運営を行っている認定NPO法人「ふくろうの森」と館内点検を実施し、老朽化しているクロス・カーペットの改修などを設計に盛り込んだ。
	【総括達成度】		◎	